

裏面白紙

宗

丙
受書大 三二廿
一〇六

第三段
第一段

官報報告

立案 大正三年二月九日
決裁 大正 年 月 日

宗務寮總裁

宗務寮主事

大臣
承知

次官
河村

元師海軍大將子爵井上良馨外五名
叙位ノ件

同覽
三年二月廿七日

二七
九五
変

十

大正三年二月七日
臺帳記入二月廿日官報報告濟

宮内省

(二大)



元帥海軍大將子爵井上良馨外五名

叙位ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

大正三年二月七日

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛公

内

閣

海一八

二月七日

大正三年二月五日

内閣書記官

内閣書記官長

内閣總理大臣

内閣書記官長

從二位勲一等功二級子爵井上良馨

敘正二位

從三位勲一等功二級男爵安東貞美

敘正三位

從四位勲一等伊集院彦吉

公 勲二等李家隆介

内閣

從四位勲二等窪田靜太郎

公 國分三亥

敘正四位

在京

正二位明治四十年二月一日叙從二位七年 元帥海軍大將從二位勲三等功級子爵井上良馨
右文武官叙位進階内則第三條依り頭書之通叙位セラレ
度謹テ 奏ス

大正三年二月三日

海軍大臣男爵齋藤



海軍

裏面白紙

正三位明治四十三年二月一日陸軍中将從三位勳二等功二級男爵安東貞美
右陸軍中将男爵安東貞美現位ニ叙セラレ
以來五年以上在職勤勞不尠候ニ付文武
官叙位進階内則第二條ニ依リ位一級進メ
ラレ度
謹テ奏ス

大正三年二月三日

陸軍大臣楠瀬幸彦



陸軍

正四位

明治三十二年二月
叙従四位

五年以上

特命権後従四位勲二等伊集院彦吉

右多年奉職勤勞不貳者ニ付叙位進階内
則茅三條ニ依リ頭書ノ通位一級進叙被仰出
候様仕度此段謹テ奏ス

大正三年二月二日

外務大臣男爵牧野伸顯



外務省

四位滿五年以上 長崎縣知事 後四位勲二等 李家隆介
右欽位進階内則第二條 依り願書ノ位。欽位ノ度
謹ニ奏ス

大正三年二月四日

内務大臣

原

敬



内務省

行政裁判所 官 第四八号

行政裁判所評定官從四位勲二等窪田靜太郎
右者明治四十二年二月一日從四位ニ叙セラレ再來在職
滿五年ニ亘リ勤勞尠カラス候ニ付文武官叙
位進階内則第二條第二項ニ依リ位階進叙
相成度此段申牒候也

大正三年二月二日

行政裁判所長官法學博士岡野敬次郎



内閣總理大臣伯齋山本權兵衛殿

行政裁判所

△

地方

叙正四位

朝鮮總督府檢事兼朝鮮總督府司法部長官從役勲等國分三亥

石八明治四十年十二月叙從四位以來滿五年以上ヲ經過シ勤勞不尠候條叙位進階内則第二條ニ依リ頭書之通叙位セラレ度謹テ奏ス

大正三年一月二十四日

朝鮮總督伯爵寺内正毅



朝鮮總督府

第 二 五

大正三年二月三日

海軍大臣男爵齋藤



内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

元帥海軍大將子爵井上良馨叙位，件別紙
上奏書進達ス

終

海 軍

入機密送第一七號

伊集院特命全權公使叙位進階ノ件

特命全權公使伊集院彦吉叙位進階ノ件
別紙ノ通致上奏候間可然御取計相成度
此段申進候也

大正三年二月二日

外務大臣男爵牧野伸顯



内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

外務省

内務大臣第七三號

別紙 李家隆介 致位 一件

大正三年 二月四日

内務大臣 原



内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

内務省

裏面白紙

裏面白紙

125

内務大臣第四八號

別紙

國分三交

叙任

ノ件

朝鮮總督

上書進達

ス

大正三年一月十九日

内務大臣 原

敬



内閣總理大臣伯爵山本權兵衛殿

内務省